

全社業務改善活動発表会を開催

当社は、2017年1月31日、本社（東京都渋谷区）において16年度全社業務改善発表会を開催しましたのでお知らせいたします。

この発表会は改善事例の水平展開を通じた改善ノウハウの共有と活動のスパイラルアップを目的とするもので当日は、本社（発表会場）・名古屋・関西各事務所のテレビ会議同時中継で社員約100名が出席し、海外を含む7拠点が改善策を発表しました。

審査は「改善効果」「改善プロセスの有効性」「水平展開の可能性」など合わせて4項目の基準で、優秀賞3拠点、奨励賞4拠点を決定しました。

●発表内容

- ・輸出手続き業務フロー改善による製品出荷リードタイム短縮
- ・新物流センターの安定稼働・運営と外部倉庫ゼロ化による保管・横持ちコスト削減
- ・KD品集梱箱のモジュール化・共通化による包装資材コスト低減とコンテナ積載効率向上、
輸出集梱箱の仕様統一・共用化による包装資材コスト低減
- ・輸出航空貨物のターミナル搬入の自社化による輸送コスト削減とセキュリティ・品質管理向上
- ・製品・調達品の入出荷工程の同期化による重機使用コスト削減、
発電機部品の現地輸送の海上モーダルシフトによる輸送コスト削減
- ・半導体物流新拠点のレイアウト、マテハン方法改善による作業効率向上
- ・空調製品の保管レイアウト改善による保管効率、作業効率向上



三菱電機ロジスティクスは、継続的な改善活動を通じて生産性、品質、安全の一層の向上を図り、お客様の期待に応える物流サービスを提供してまいります。

以上